



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 不二硝子株式会社
 コード番号 5212 URL <http://www.silicox.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小熊 信一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 高濱 英司
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3617-5111

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	2,538	3.5	101	183.2	127	93.0	77	65.9
2020年3月期	2,452	0.9	35	29.8	66	28.9	46	59.3

(注) 包括利益 2021年3月期 262百万円 (80.1%) 2020年3月期 145百万円 (31.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	37.79		2.7	3.1	4.0
2020年3月期	22.78		1.7	1.7	1.5

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	4,331	3,084	69.3	1,459.56
2020年3月期	4,016	2,838	68.7	1,341.90

(参考) 自己資本 2021年3月期 3,000百万円 2020年3月期 2,758百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	159	144	10	669
2020年3月期	159	71	68	642

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期				7.50	7.50	15	32.9	0.6
2021年3月期				7.50	7.50	15	19.8	0.5
2022年3月期(予想)				7.50	7.50		25.7	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,300	2.3	70	28.4	90	18.3	55	20.1	26.75
通期	2,500	1.5	80	21.5	100	21.7	60	22.8	29.19

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	2,142,000 株	2020年3月期	2,142,000 株
期末自己株式数	2021年3月期	86,243 株	2020年3月期	86,243 株
期中平均株式数	2021年3月期	2,055,757 株	2020年3月期	2,055,757 株

(参考)個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	2,538	3.5	60	204.9	94	60.3	62	39.5
2020年3月期	2,452	0.9	19	239.8	59	53.7	44	59.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	30.53	
2020年3月期	21.88	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2021年3月期	4,008		2,770		69.1	1,347.89		
2020年3月期	3,685		2,543		69.0	1,237.49		

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,770百万円 2020年3月期 2,543百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	1,300	2.3	65	10.9	45	13.1	21.89
通期	2,500	1.5	80	15.7	50	20.3	24.32

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況 (4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
(6) 事業等のリスク	4
2. 企業集団の状況	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
5. その他	15
生産、受注及び販売の状況	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を受け、政府による緊急事態宣言や海外でのロックダウン等の実施により、経済活動が制限されたことから景気後退を余儀なくされました。その後、緊急事態宣言やロックダウンの解除等により、経済活動が緩やかに持ち直す動きも一時的に見られました。しかしながら、同感染症の再拡大に伴い先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する医薬容器業界は、主需要先の医薬業界において薬価改定、後発品使用促進等、医療費抑制要請の強まり、さらには新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、医療機関への受診抑制傾向がみられる一方で、同感染症の治療ならびにワクチン供給に対する社会的責任の高まりを見せる中、当業界の主力製品である「アンプル」「管瓶」の需要が高まりました。

このような環境下、当社グループといたしましては、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し生産及び営業活動を停止することなく操業を行い、主要製品はじめ関連商品の安定供給に全力を注ぎ、医薬業界の要求に応えるよう努めてまいりました。なお、新型コロナウイルス感染症に直接関連した売上は、海外製ワクチンの国内製薬メーカーによる充填用容器として「管瓶」を供給いたしました。当連結会計年度の売上の影響は軽微であります。

当連結会計年度の売上高につきましては、「アンプル」ほか全ての品目で売上が増加したことで前年を上回り、売上高2,538百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

利益面につきましては、稼働率・製造歩留りの向上及びウェブ会議等のリモート環境での業務浸透による旅費交通費等経費削減に取り組んだ結果、営業利益101百万円（前年同期比183.2%増）、経常利益127百万円（前年同期比93.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は77百万円（前年同期比65.9%増）とそれぞれ増加しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は1,884百万円（前連結会計年度末は1,863百万円）となり、20百万円増加しました。これは受取手形及び売掛金の減少（630百万円から528百万円へ102百万円減）及び有価証券が減少（252百万円から246百万円へ5百万円減）した一方で、商品及び製品の増加（276百万円から349百万円へ72百万円増）及び現金及び預金の増加（618百万円から673百万円へ54百万円増）したことが主な要因であります。

当連結会計年度末における固定資産の残高は2,447百万円（前連結会計年度末は2,152百万円）となり、294百万円増加しました。これは有形固定資産の増加（887百万円から920百万円へ32百万円増）や投資有価証券が増加（1,214百万円から1,472百万円へ257百万円増）したことが主な要因であります。

(負債)

当連結会計年度末における負債の残高は1,246百万円（前連結会計年度末は1,178百万円）となり、68百万円増加しました。これは役員退職慰労引当金が減少（176百万円から159百万円へ16百万円減）、その他の減少（153百万円から132百万円へ20百万円減）及び買掛金が減少（129百万円から119百万円へ9百万円減）した一方で、繰延税金負債が増加（301百万円から385百万円へ84百万円増）、長期借入金が増加（78百万円から103百万円へ25百万円増）及び未払法人税等の増加（16百万円から22百万円へ6百万円増）したことが主な要因であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は3,084百万円（前連結会計年度末は2,838百万円）となり、246百万円増加しました。利益剰余金の増加（1,934百万円から1,997百万円へ62百万円増）やその他有価証券評価差額金が増加（749百万円から929百万円へ179百万円増）したことが主な要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ26百万円増加し、当連結会計年度末には669百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、159百万円（前年同期159百万円の収入）となりました。これは主にたな卸資産の増加76百万円、受取利息及び受取配当金18百万円、役員退職慰労引当金の減少16百万円及び未払消費税等の減少10百万円があった一方で、税金等調整前当期純利益121百万円、売上債権の減少102百万円及び減価償却費73百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、144百万円（前年同期71百万円の使用）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入252百万円があった一方で、定期預金の預入による支出274百万円及び有形固定資産の取得による支出120百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、10百万円（前年同期68百万円の使用）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出143百万円及び配当金の支払による支出15百万円あった一方で、新規の長期借入れによる収入170百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	64.5	65.9	68.6	68.7	69.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	25.9	31.6	28.7	20.1	74.8
キャッシュフロー対有利子負債比率 (年)	1.6	1.6	1.0	1.2	1.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	58.5	57.4	91.5	84.8	96.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュフロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
 2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
 3. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。
 4. 営業キャッシュ・フロー及び利払いは連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を使用しております。

(4) 今後の見通し

当医薬容器業界の今後の見通しにつきましては、主たる得意先である医薬品業界において、政府による薬価改定、後発品使用促進等、医療費抑制要請がますます強まっており、引き続き厳しい受注環境となることが推測されます。さらには新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を受け、各国間の物流の停滞及び輸送コストの高騰等により先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、主力製品を中心に販売促進を強化するとともに、徹底したコストダウンの推進と財務体質の改善を図り、安定供給と業績の向上に努めてまいります。

次期の連結業績の見通しにつきましては、現在は医薬品業界において新型コロナウイルス感染症による直接的な売上の影響は軽微と思われ、例年通りの基準で業績予想の算出を行い、売上高2,500百万円、営業利益80百万円、経常利益100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益60百万円を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題と考へ、業績及び配当性向等を総合的に勘案し、安定的・継続的な配当を実施して、株主の皆様のご期待にお応えする所存であります。

内部留保につきましては、高度な品質を求められる厳しい経営環境に対応するために、研究開発及び生産・販売の合理化投資と事業活動の安定化のための財務体質強化に充てる予定であります。これら投資は将来における収益確保に不可欠のものと考えております。

2021年3月期におきましては、利益配分に関する基本方針および今後の事業展開等を勘案いたしまして、1株当たり期末配当金を7円50銭にする旨を定時株主総会に付議させて頂く予定です。

次期の配当につきましては、上記の基本方針及び今後の業績見通し等を勘案した結果、1株当たり期末配当金は7円50銭を見込んでおります。

(6) 事業等のリスク

当社グループの業績は、今後起こりうる様々な要因により影響を受ける可能性があります。当社グループの業績に影響を及ぼす可能性のある主なリスクとしては、以下のようなものが考えられます。

① 市場の変化

主需要先である医薬品業界における市場の変化やインフルエンザの発生動向等により、当社グループの売上は大きく影響を受ける可能性があります。

② 法令または規制の変化

主需要先である医薬品業界の医薬品事業は、薬事規制や製造物責任等の様々な法規制に関連しており、法規制の制定や改定により当社グループの製品を包装材料として使用する医薬品の製剤中止や生産量が減少する可能性があるため、これらの法令または規制の変化が、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

③ 薬価の改定

主需要先である医薬品業界において、医療費抑制政策の一環として医療用医薬品の薬価が概ね2年に一度改定されますが、薬価が引き下げられることに伴う価格協力等が、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

④ 工場の閉鎖及び操業停止

技術上もしくは規制上の問題、使用原材料の供給停止、インフルエンザ等のパンデミック、または火災、地震その他の災害等により、工場が閉鎖または操業停止となった場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

⑤ 内部統制の整備等

当社グループは、金融商品取引法に基づく財務報告に係る内部統制の評価および監査を基準ならびに実施基準に準拠し、財務報告に係る有効な内部統制システムを整備し、その適正な運用に努めております。しかし、内部統制が有効に機能せず、あるいは予期しない内部統制上の問題により、多大な損失が発生した場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

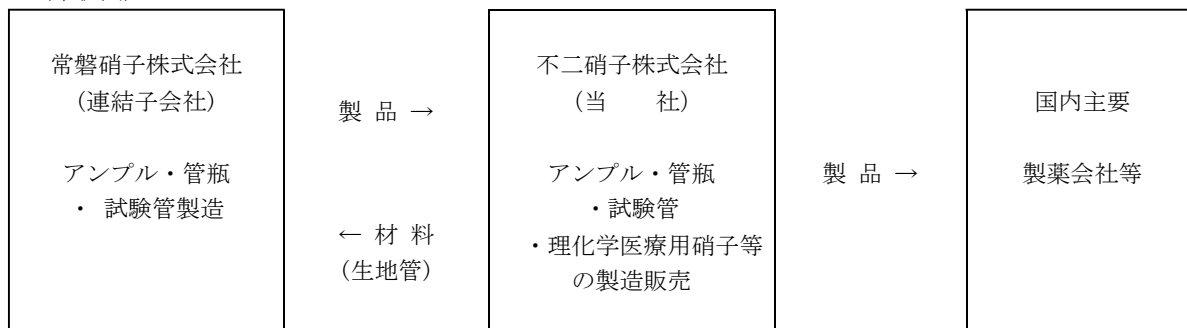
⑥ 金融市況

市場性のある株式等を保有しているため、株式市況の変動によってはこれらの株式等の売却損や評価損が生じる可能性があります。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社（不二硝子株式会社）及び連結子会社（常磐硝子株式会社）より構成されており、当社はアンプル、管瓶（バイアル瓶）、試験管、理化学医療用硝子等の製造及び販売を事業としており、常磐硝子株式会社は、アンプル、管瓶、試験管を製造して、すべて当社へ販売しております。

（系統図）



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	618,928	673,299
受取手形及び売掛金	630,639	528,383
有価証券	252,040	246,095
商品及び製品	276,399	349,371
仕掛品	3,306	3,502
原材料及び貯蔵品	41,345	45,151
未収入金	38,935	37,887
その他	2,876	1,191
貸倒引当金	△757	△663
流動資産合計	1,863,714	1,884,220
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,278,251	1,305,710
減価償却累計額	△938,616	△965,324
建物及び構築物 (純額)	339,635	340,385
機械装置及び運搬具	2,111,426	2,137,477
減価償却累計額	△2,023,309	△2,030,034
機械装置及び運搬具 (純額)	88,116	107,442
土地	442,518	442,518
建設仮勘定	7,470	8,463
その他	71,295	83,259
減価償却累計額	△61,224	△61,282
その他 (純額)	10,071	21,976
有形固定資産合計	887,812	920,787
無形固定資産		
投資その他の資産	2,177	1,850
投資有価証券	1,214,920	1,472,546
繰延税金資産	12,019	15,232
その他	43,329	43,444
貸倒引当金	△7,307	△6,807
投資その他の資産合計	1,262,962	1,524,415
固定資産合計	2,152,952	2,447,054
資産合計	4,016,666	4,331,274

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	129,335	119,568
1年内返済予定の長期借入金	111,800	113,600
未払法人税等	16,889	22,984
未払事業所税	7,304	7,368
賞与引当金	61,504	64,282
その他	153,238	132,361
流動負債合計	480,070	460,164
固定負債		
長期借入金	78,000	103,200
繰延税金負債	301,864	385,937
役員退職慰労引当金	176,176	159,232
退職給付に係る負債	113,245	109,000
資産除去債務	28,831	28,847
固定負債合計	698,117	786,217
負債合計	1,178,187	1,246,382
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,100	107,100
資本剰余金	582	582
利益剰余金	1,934,804	1,997,079
自己株式	△33,848	△33,848
株主資本合計	2,008,638	2,070,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	749,975	929,581
その他の包括利益累計額合計	749,975	929,581
非支配株主持分	79,864	84,397
純資産合計	2,838,478	3,084,892
負債純資産合計	4,016,666	4,331,274

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	2,452,971	2,538,849
売上原価	1,968,143	1,980,441
売上総利益	484,827	558,407
販売費及び一般管理費	448,859	456,526
営業利益	35,968	101,881
営業外収益		
受取利息	110	71
受取配当金	18,162	18,330
受取賃貸料	8,460	8,856
その他	9,452	4,733
営業外収益合計	36,185	31,991
営業外費用		
支払利息	1,923	1,659
賃貸費用	4,095	4,358
その他	—	197
営業外費用合計	6,018	6,215
経常利益	66,135	127,656
特別利益		
固定資産売却益	71	100
投資有価証券売却益	6,505	—
特別利益合計	6,576	100
特別損失		
固定資産除却損	160	62
減損損失	—	5,902
特別損失合計	160	5,964
税金等調整前当期純利益	72,552	121,792
法人税、住民税及び事業税	27,460	34,091
法人税等調整額	△3,338	4,425
法人税等合計	24,121	38,517
当期純利益	48,430	83,275
非支配株主に帰属する当期純利益	1,607	5,582
親会社株主に帰属する当期純利益	46,823	77,692

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	48,430	83,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97,503	179,606
その他の包括利益合計	97,503	179,606
包括利益	145,934	262,881
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	144,327	257,299
非支配株主に係る包括利益	1,607	5,582

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	107,100	582	1,903,399	△33,848	1,977,233
当期変動額					
剰余金の配当			△15,418		△15,418
親会社株主に帰属する当期純利益			46,823		46,823
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	31,405	—	31,405
当期末残高	107,100	582	1,934,804	△33,848	2,008,638

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	652,471	652,471	79,307	2,709,012
当期変動額				
剰余金の配当				△15,418
親会社株主に帰属する当期純利益				46,823
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	97,503	97,503	557	98,061
当期変動額合計	97,503	97,503	557	129,466
当期末残高	749,975	749,975	79,864	2,838,478

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	107,100	582	1,934,804	△33,848	2,008,638
当期変動額					
剰余金の配当			△15,418		△15,418
親会社株主に帰属する当期純利益			77,692		77,692
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	62,274	－	62,274
当期末残高	107,100	582	1,997,079	△33,848	2,070,913

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	749,975	749,975	79,864	2,838,478
当期変動額				
剰余金の配当				△15,418
親会社株主に帰属する当期純利益				77,692
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	179,606	179,606	4,532	184,139
当期変動額合計	179,606	179,606	4,532	246,413
当期末残高	929,581	929,581	84,397	3,084,892

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	72,552	121,792
減価償却費	56,629	73,459
減損損失	—	5,902
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,724	2,778
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△309	△594
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,906	△16,944
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,463	△4,245
受取利息及び受取配当金	△18,272	△18,401
支払利息	1,923	1,659
有形固定資産売却損益 (△は益)	△71	△100
売上債権の増減額 (△は増加)	△32,123	102,255
たな卸資産の増減額 (△は増加)	48,534	△76,974
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,181	△9,767
未収入金の増減額 (△は増加)	△8,354	1,048
未払消費税等の増減額 (△は減少)	23,276	△10,842
その他	8,151	△74
小計	165,847	170,951
利息及び配当金の受取額	18,248	18,433
利息の支払額	△1,885	△1,656
法人税等の支払額	△25,042	△27,996
法人税等の還付額	2,743	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	159,911	159,732
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△245,609	△274,632
定期預金の払戻による収入	213,081	252,360
有形固定資産の取得による支出	△43,080	△120,266
投資有価証券の取得による支出	△1,558	△1,583
投資有価証券の売却による収入	7,500	—
その他の支出	△1,544	△115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,211	△144,236
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	170,000
長期借入金の返済による支出	△152,400	△143,000
配当金の支払額	△15,230	△15,290
非支配株主への配当金の支払額	△1,050	△1,050
財務活動によるキャッシュ・フロー	△68,680	10,659
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	20,020	26,155
現金及び現金同等物の期首残高	622,838	642,858
現金及び現金同等物の期末残高	642,858	669,013

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）
当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。
- II 当連結会計年度（自2020年4月1日 至2021年3月31日）
当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報
単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。
2. 地域ごとの情報
 - (1) 売上高
本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。
 - (2) 有形固定資産
本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。
3. 主要な顧客ごとの情報
連結損益計算書の売上高の10%を占める顧客がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報
単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。
2. 地域ごとの情報
 - (1) 売上高
本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。
 - (2) 有形固定資産
本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。
3. 主要な顧客ごとの情報
連結損益計算書の売上高の10%を占める顧客がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】
当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】
該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,341.90円	1,459.56円
1株当たり当期純利益金額	22.78円	37.79円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	46,823	77,692
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	46,823	77,692
期中平均株式数 (千株)	2,055	2,055

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当連結会計年度の生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
	生産高(千円)	前年同期比(%)
アンプル	259,613	110.1
管瓶	1,836,746	110.7
その他	68,945	131.1
合計	2,165,304	111.2

(注) 金額は平均販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当連結会計年度の受注状況を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
アンプル	331,909	108.5	88,846	108.5
管瓶	2,079,541	96.4	759,898	113.9
その他	287,802	139.2	89,012	311.6
合計	2,699,252	101.1	937,757	120.6

(注) 金額は平均販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当連結会計年度の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
	販売高(千円)	前年同期比(%)
アンプル	324,965	102.7
管瓶	1,986,531	103.2
その他	227,352	107.4
合計	2,538,849	103.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。